

首都直下型地震への備えを 新任のごあいさつ

これからも地域のために

題字:三木 兼吉

この度4月18日の久が原西自治会総会において、はからずも会長に推挙されました。若くはありませんが、幸い健康に恵まれ元気に任期を勤めたいと思います。

早速今後の予定をみますと、10月1日の国勢調査、12月の大田区主催の久が原地区総会防災訓練が予定されています。「久が原地区地域防災協議会」や「学校防災活動拠点運営協議会」を通して、久が原地区自治会連合会一体となり、今後予想される首都直下型地震災害にも、備えていきたいと思えます。

どうぞ自治会各位の御協力を、お願い申し上げます。



久が原西自治会長

戸田 彰

私は66年前に久が原で生まれ、以降今日に至るまで地元で過ごしてまいりましたので、これも何かのご縁だと思いい、久が原自治会の会長職を拝命いたしました。南自治会員として地域との関わりは私の長男が小学校に入ってから、かれこれ20数年になります。

久が原クラブまつり実行委員や、青少年対策久が原地区委員として青少年の健全育成に携わってまいりました。これからは自治会長として地域のために邁進していく所存であります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



久が原自治会長

池上 孝三

久が原の街並み

齋藤 晃

久が原に住み80余年、戦火に耐えた建屋は片手の指で数える程、ほとんどの家は建て換わった。生垣は減り、家屋の密度は上がったが、大きな変化は感じない。街路の配置、幅が当時と全く変わらないからだ。奥沢や雪谷に続いて久が原にもすでに東急系の手が入り、開発は次第に進化して当時から自動車交通に十分な街並みを整備した先見性には驚くほかない。しかし広い道も砂利道で、運動会の日、はだし足袋(底も木綿一枚の履物)で学校にたどり着くには大変痛い思いをした。走る車もなく子どもたちの遊び場となっていた。

戦時中は中央幅1m位を残し畑として掘り起こされたが、戦後は少しずつ簡易舗装され縁はU字溝が整備され、管には巨大なドブネズミが住み付き道路を駆け抜けていた。次第に下水が整備され、東電の

特集

戦後70年のあゆみ — 久が原のまちと私 —

記念事業で街路灯が明るく輝いた。散歩すると戦前の定番大屋石の石積みを見かける。家は換わってもその周辺から昔の姿が甦る。

時代とともに体験したこと

久が原6丁目で長年水墨画とバイオリンを教えておられる柳平素子(雅号・素雪)さん。

戦争末期、防空壕を作るために庭木の下を掘ると大きな空洞があり、旧い時代の古墳であることがわかりました。粉状になるほど錆びた刀と共に、親子と思われる人骨が残っていたそうです。そこに生活用品を運び込むこともあり、空襲で家は焼かれても家族は無事だったとのこと。

終戦直後の音大を卒業したばかりの頃、進駐軍のクラブやキャンプ、教会などで演奏アルバイトをしました。経験が浅く若い音楽家でも「アーティスト」として扱われる待遇、当時の日本との価値観の差に

大きな衝撃を受けたそうです。また、かつて船乗りであった素子さんの祖父が繰り返し強く語っていた「他国を知るにつけ明らかなる敗戦を何故、上層部が止めることが出来なかったのか。戦争は決して繰り返してはならない。」という言葉が深く心に刻まれています。

(岡田 久美子)



時に理が出たそうです。戦時中に女学校を卒業、国鉄に入り東京駅に通勤され、駅前には千人針をお願いする婦人が立ち、通る行く女性が協力して縫っていかれたそうです。また、夕飯を食べる頃に空襲警報が鳴ると、庭の暗い防空壕で食事せねばならず、それがいやだったそうです。

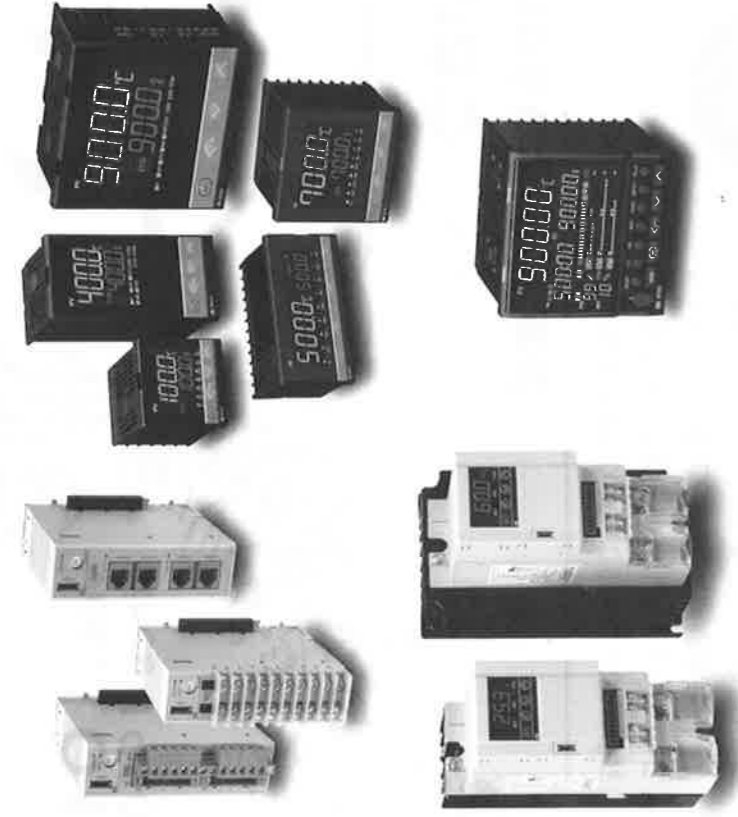
近くの家に焼夷弾が落とされ、皆で消したり、久が原にB29が落ちた時は「やったぞ」と皆声を上げ、見に行くと憲兵がとり囲み、塀に寄り掛かった米兵の姿があり、敵国人だかど若いのに可愛想、と思ったそうです。21才で終戦となり、戦争は絶対によいやだ!と話されました。70年が過ぎて、お父様と植えた桜は大樹となり、毎春通り行く人々を楽しませています。

桜と共に平和を願う

小峰高枝さんは大正13(1924)年に静岡県で生まれ、国鉄勤務の父親の転勤で東京に生まれ、6才の時に、久が原6丁目に居住されました。その折に、桜の苗木をお父様と一緒に植えられたそうです。当時は家も数える程で、久原小の登下校

(大竹 恵美子)





▶当社は温度制御の専門メーカーです。私たちのつくる温度調節計や温度センサ、電力操作器は、世界中の工場で広く使われており、理化工業の商標である“RKC”ブランドは、半導体業界やプラスチック業界を中心に食品業界、理化学機器業界等の生産現場で高い評価を頂いております。

▶久が原5丁目に事業所を構える理由

1937(昭和12)年に世田谷区東玉川にAH研究所を創立、2年後に現在地に工場を建設いたしました。現在こちらは本社で工場は茨城に在ります。第一に創業者がこの地域に住んでいたことがありますが、何よりも久が原という閑静な地域性が、理化工業の家族的な雰囲気にもマッチしたのだと思います。今年78

周年を迎えましたが、現在もその社風は受け継がれております。

▶ものづくりへの思い

当社は、会社方針に「日本でのもの造りを追求しよう」と掲げています。昨今、日本で製造を続けていくことが、ますます難しくなってきています。しかし、みんながしり込みするデメリットがあるところ、そのデメリットをどう克服するかというところにビジネスチャンスがあり、仕事のおもしろみがあると考えております。地域や日本に貢献していくために、計測・制御のサービス企業として、他社が追従できないスピード感を持って製品・サービスを提供していきたいと思っております。

住所 大田区久が原5-16-6
代表取締役社長 保知 輝英

情報紙 第100号記念イベント



久が原特別出張出張所会議室にて

展示会 5/26(火)~6/1(月)

久が原に「ギャラリー&絵本カフェ」がオープン!

本紙創刊号からこれまでのバックナンバーすべて、題字に使われた金澤翔子氏の書、記事に掲載された写真・イラスト・原画など……一堂に公開され、延べ150名の方にご来場いただきました。

講演会 5/30(土) (久が原会館にて)

「大河ドラマと歴史の楽しみ方」

ご自身が歴史に興味を持たれたのは、小学生の頃「仮面ライダー」役の俳優が「坂本龍馬」を演じ、それをテレビでご覧になってから。「子供たちにも好きなことから歴史に興味をもってほしい。」とのメッセージ。大河ドラマの番組や幕末の「ヒーロー」の裏話、剣術や銃の扱い方の実演も。ほか楽しいお話と講演後は著書のサイン会も開かれました。(講演会参加者は約70名)



歴史作家・時代考証家

山村 竜也 氏

イベント情報

- ◆久が原南自治会防災訓練
【日時】7月5日(日) 9:00~12:00
【場所】久が原南自治会館隣接南台公園
- ◆久が原東自治会文化部研修会
【日時】7月9日(木) 9:00~
【場所】築地市場他
- ◆道々橋自治会夏休み子ども会
【日時】7月26日(日)
【場所】道々橋八幡神社境内
- ◆打ち水大作戦・納涼の夕べ
【日時】8月2日(日)
【場所】ヒルズ久が原中庭
- ◆久が原東部八幡神社例大祭
【日時】9月5日(土)
【場所】久が原東部八幡神社
- ◆久が原西部八幡神社例大祭
【日時】9月12日(土)13日(日)
【場所】久が原西部八幡神社
- ◆久が原南自治会敬老の日祝品贈呈
【日時】9月中旬
満75歳以上の方(自治会費納入者で申込み制)にお届け
- ◆道々橋自治会敬老の日祝品贈呈
【日時】9月中旬
満75歳以上の方(自治会費納入者で申込み制)にお届け
- ◆久が原西自治会祝品贈呈
【日時】9月中旬
満77歳(喜寿)、80歳以上の方(自治会費納入者で申込み制)にお届け
- ◆敬老祝賀会
【日時】9月25日(金)
【場所】ヒルズ久が原管理棟多目的室
- ◇問い合わせ先
久が原特別出張所 3752-4271

必編集委員会の紹介

【編集委員】	
編集長	富田 永美 (西)
副編集長	松木 伸子 (東)
	伊藤 進 (道々橋)
	種田なおみ (西)
	大竹恵美子 (東)
	岡田久美子 (西)
	小倉 敦司 (東)
	北村 純子 (西)
	五邊 幸美 (道々橋)
	中安 久司 (ヒルズ)
	福田久美子 (南)
	須藤 彰子 (西)新任
	本間 良子 (東)新任
(退任)	佐々木琢磨 (南)
	道上ミヨ子 (東)
【協力員】	
編集担当	佐々木琢磨 (南)新任
	平野 保文 (東)新任
イラスト/外	松浦三恵子 (西)
イラスト	大林のぼる (元南)

地域情報紙 くがはら

発行：地域力推進久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL(3752)4271
FAX(3752)4514
久が原地区管内
<人口>
男 13,906人
女 14,492人
計 28,398人
<世帯数>
13,080 世帯
平成27年6月1日現在

【編集後記】

満開の桜の頃に第100号の節目を迎え、伸びゆく緑の季節に第101号が発行されました。

—終わりは始まり—

伝統を大切に受け継ぎながらデザインも新たな情報紙がスタートしました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

雷田 永美